

豊かな自然、神話や伝説と人が今なお共生する山陰。これらの特性を大いに生かしたビジネスや事業に携わる人たちに出会った。中には地域を超えて世界に発信し、さらに世界平和をも視野に入れた事業展開もある。い

山陰

ニッポン2004

ずれも根底にあるのが地域を思い、人を思う心にある。

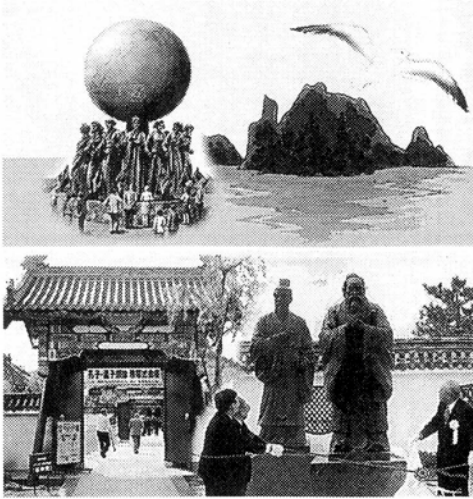
人を育て、地域を盛り上げ、全国、そして世界に羽ばたく山陰の姿を紹介しよう。

人類進化のセンターをめざして

小松電機産業 環境・健康・平和事業を展開

シートシャツター「門番」のヒットで大成を遂げたベンチャー企業、小松電機産業（松江市乃）に、社業を通じて社会に

子の「論語」も出版した。



平和を祈願

竹島に平和像建立推進(上)と、鳥取県の中国庭園に建立した孔子・孟子像の切手の発行を提案

喜びの輪を広げる事業を展開している。「中海・安道湖21世紀プロジェクト」もそのひとつ。中海・安道湖で進む水質汚染に着目。積もる汚泥を資源に変えるなど災いを福とする構想だ。主力商品の上下水道制御・管理システム「やくも水神」も、21世紀の水問題解決をめざして生まれた。

日韓国で激論が続く日本海・東海呼称問題や、竹島領有権問題にも意見し、竹島に人類恒久平和記念像の建立を提案。切手・シールの発行活動は動き出している。小松社長は「朝鮮半島の対岸、広島に中国山地をばさんで位置するこの山陰こそが北東アジアで大きな役割を担うと確信している」と説いている。